同窓会研修バスツアー開催　1
平成２８年度定期講演会　1
ものつくり大学文化祭に出展　1
同窓会活動（総会・幹事会・他）　1
豆知識のコーナー　1
同窓会の先輩にインタビュー　2
クラブ活動紹介　2
colomn　2
編集後記　2
編集委員　2

GYODA · SHIMINDAIGAKU · DOSOKAI

行田市民大学同窓会

第３号

＊つなぐ＊
つ・・みんなでつどう
な・・ながくなかよく
ぐ・・ぐるーぷで

同窓会研修バスツアー開催

古道を通り大谷石採掘場跡・栃木蔵の街を訪ねる

平成二十八年九月二十八日に「千人同心道をゆく大谷観音・栃木蔵の街」をテーマに古道を通り、大谷平和観音、大谷石採掘場跡、旅情豊かな宿場町栃木を訪ねるバスツアーが開催された。

七十五名の参加者は行田バスターミナルに七時三十分に集合し、大型バス二台に分乗。バスツアー主催者の広報交流担当から旅程の説明があり、歴史ある古道を通りながらのバスツアーがスタートした。

バスは国道を避け行田市を通る千人同心道を走り、その道すがら広報担当から千人同心道、例幣使街道について説明があった。また、千人同心道沿いの新郷宿本陣跡須永家、勘兵松並木、川俣の関所跡、館林城跡などを車窓から見学。

途中、「道の駅みかも」でトイレ休憩と農産物センターで買い物。その後、東北自動車道に乗り、石の町大谷に向かった。

大谷石採掘場跡

大谷石採石場跡の凝灰岩層壁面に総手彫りで彫られた石造観音菩薩立像の大谷平和観音を背に参加者全員の記念撮影が行われた。

栃木「蔵の街」を散策するツアー参加者

大谷石採掘場跡では、市民ボランティアガイドのユーモアある解説を聞きながら大谷石を掘り出して出来た巨大な地下空間を見学した。その後、道の駅・宇都宮ロマンチック村に移動し、霧降牛ハンバーグの昼食と農産物の買い物を楽しんだ。道の駅を出発する直前から雨が降り始め、栃木市の散策が心配されたが到着する頃には雨も止んだ。移動中、栃木に関するクイズが出題され正解上位者には、野菜の景品が贈られた。

栃木市では、例幣使街道沿いの蔵の街を自由散策したが、街並みは良く保存・整備され歴史ロマンを感じる。特に巴波川沿いにある百二十メートルほどの黒塀は、「栃木　蔵の街」を代表する旅情豊かな建造物である。

まずまずの天候の中、学習と親睦を兼ねた研修バスツアーは、歴史ある古道を通りながらの史跡見学や大谷石の歴史、情緒ある古い町並み散策など先人たちの軌跡をたどる歴史旅となった。また、バスの中での自己紹介やクイズ大会などを通じて親睦も図られ好評のうちに終了した。

蔵の街　栃木を代表する旅情豊かな建造物（塚田歴史伝説館）

平成二十八年度定期講演会

行田市周辺の治水・利水の歴史

平成二十八年十一月二十九日　行田市民大学同窓会主催　年一回の定期講演会が行田グリーンアリーナで開催された。

講演は熊谷市出身　野外調査研究会会長（元東洋大学国際地域学部教授）の松浦茂樹氏による「水と闘う忍領の人々～行田市周辺（忍領）の治水・利水の歴史」をテーマに実施され、一般市民、行田市民大学同窓生、在校生　百五十名余りが聴講した。

忍城は、利根川、荒川が合流する地域に位置し、両川の洪水にたびたび襲われた。一方、灌漑用水を得るなど利根川、荒川と密接な関係をもっている。

講師の話を真剣に聞く参加者

行田市に残る中条堤は、利根川の洪水を上流側で一時的に湛水させ、下流側を被害から守ることを目的とした堤防であり、これを巡って上郷、下郷の激しい争いがあったこと、埼玉平野、江戸を洪水から守るために利根川東遷、荒川西遷が行われたこと、灌漑用水を得るための利水などについてわかりやすく講演された。

ものつくり大学文化祭に出展

喫茶コーナーが好評

平成二十八年十月二十九、三十日に「ものつくり大学」で文化祭が開かれ、行田市民大学と行田市民大学同窓会の関係者が参加した。同窓会には、一部屋の展示スペースが設けられ、昨年より大幅に増えたグループ活動紹介パネルや平成二十八年九月二十八日に実施された研修バスツアーの光景を紹介するパネルなどが展示された。

また、同窓会の部屋では今年初めて喫茶コーナーが設けられ、同窓会女性役員が中心になってお客様をおもてなし。見学に来られた方々から好評だった。

受付コーナー、ビデオ放映コーナー、同窓会ホームページの検索コーナー、はちみつ販売コーナーなども設けられ、多くの見学者で賑わっていた。

クラブ活動を紹介しているパネル展示コーナーの様子

賑わう喫茶コーナー

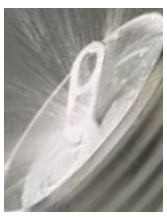
同窓会活動

総会・幹事会・他

四月二十日　第一回同窓会幹事会
五月十八日　第二回同窓会幹事会
五月十八日　同窓会定期総会
六月　八日　第三回同窓会幹事会
七月二十日　第四回同窓会幹事会
八月十七日　第五回同窓会幹事会
広報誌　第二号発行
九月二十一日　第六回同窓会幹事会
九月二十八日　バスツアー（大谷石、栃木市内）
十月十九日　第七回同窓会幹事会
十月二十九日・三十日　ものつくり大学祭　市民大学＆同窓会参加
十一月十六日　第八回同窓会幹事会
十一月二十九日　同窓会研修講演会
十二月二十一日　第九回同窓会幹事会
一月十八日　第十回同窓会幹事会
二月十五日　第十一回同窓会拡大幹事会
三月十五日　第十二回同窓会幹事会
三月十六日　臨時総会
同窓会交流・活動報告会
広報誌　第三号発行

豆知識のコーナー

炭酸飲料の吹きこぼれ防止


缶から吹き出す炭酸

今号では、豆知識のコーナーを掲載します。

身近な問題から炭酸飲料の吹きこぼれを防止する対策を紹介します。

炭酸が吹きこぼれる理由は、液体中や容器の内側に付着した気泡（炭酸ガス）が、開封と同時に圧力の関係で上部へと上昇することで、液体も一緒に押し上げられて噴き出します。そのため、その気泡を除去すれば、噴き出しを防止できます。

【対策四項目】
①開ける前に横にして転がす。開ける前に缶もしくはペットボトルを横において、コロコロ転がす。
②側面を叩く。容器の側面を指でコンコンと繰り返し叩く。
③急ぐ必要がない場合には、しばらく放置する。
④開封するときは慎重にゆっくりと開封する。

基本的には気体になった炭酸ガスを液体に溶けるようにし、気泡を減らすことが必要です。信じるかどうかはあなた次第ですが、試して見る価値はありそうです。